

## すみだタウンミーティング 議事録

<b>テーマ</b>	みんなでつくろう！すみだの未来 第2回「すみだらしい『つながり』」
<b>日時</b>	令和3年10月9日（土）午前10時15分～正午
<b>会場</b>	すみだリバーサイドホール2階イベントホール／オンライン（Zoom）
<b>参加者</b>	45名（会場：23名、オンライン：22名）

### <はじめに>

**司会** すみだタウンミーティング みんなでつくろう！すみだの未来「すみだらしい『つながり』」を開催する。このタウンミーティングは、私たち有志の区民で組織する、企画運営委員会でいろいろなことを検討して開催している。

タウンミーティングとは、会場にいらしてる皆さん、そして、オンライン参加の皆さんと区長が、直接の対話をするという場である。この直接の対話で皆さんから出たご意見や思いを、区政に参考として反映させる機会となっている。

今年は「協治（ガバナンス）推進条例」ができてから10年目ということで、10周年記念として、この「協治（ガバナンス）」をメインテーマに4回、タウンミーティングを行っており、本日は2回目となる。協治（ガバナンス）に必要な3つの力のうちの、「つながる力」について、本日は、「すみだらしいらしい『つながり』」をテーマに、すみだの明るい未来に向けて、皆さんと区長とともに考えていきたい。

### <協治（ガバナンス）、「つながる力」の10年について説明>

**事務局（地域活動推進課）** まず初めに、協治（ガバナンス）について説明させていただく。

墨田区における協治（ガバナンス）とは、「区民、地域団体、NPO、企業、区などの多様な主体がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担し、ともに考え、ともに行動することで、地域の課題を解決していく社会のあり方」を言う。すみだで暮らしたり、働いたり、活動したりと、すみだに関わっている様々な人たちがつながって、みんなで力を合わせて、すみだを元気に、より魅力あふれる街にしていくということが、「協治（ガバナンス）によるまちづくり」である。そんなまちづくりを進めていくために、10年前の2011年に「墨田区協治（ガバナンス）推進条例」を策定した。

協治（ガバナンス）を進めるために必要な三つの力を「知る力」、「つながる力」、「行動する力」としているが、今年度はこの三つの力をテーマとして、タウンミーティングを実施している。前回のタウンミーティングでは、一つ目の「知る力」をテーマとして開催した。前回いただいたご意見の一部を、企画運営委員からご紹介する。

**企画運営委員** 7月11日に開催された第1回すみだタウンミーティング、「知る力と知らせる力」では、すみだの良さやすみだに関する情報を知るため、知らせるための工夫や課題について話し合った。私も前回初めて委員として携わらせていただいたが、皆様の活発な意見交換を聞き、改めてすみだの魅力、そして現状、これからの課題について考えるき

かけとなった。その中で、「情報があるのに行き届いていない」、また「関心がなければ、受け取ることができない」という情報に対する関心や、高齢者や障害者、在住外国人などの情報弱者と呼ばれる方々への対応が課題として挙げられた。また、行政が情報の伝え手で、区民が受け手という関係だけでなく、区民同士の相互発信により、区民が伝え手にも、受け手にもなることが必要ではないかというご意見もいただいた。

本日は「知る力」の次のステップ、「つながる力」がテーマとなる。「つながる力」では、一人ひとりの良いところを見つけて、活かせる上手な仲間作りが大切となる。また、行政や地域のリーダには、コーディネーターとしてつなげる力が必要とされる。「すみだらしい『つながり』」をテーマに、皆様から様々なご意見を伺いたい。

**事務局（地域活動推進課）** 続いて、墨田区の「つながる力」の10年について、少し見ていきたい。地域の繋がり基礎には、町会・自治会の活動があるかと思う。その町会・自治会の加入率は、10年前と比べると、徐々に低下してしまっている。そこには、地域に根づいていた職住接近の工場の撤退に伴い、新たに建設されるマンション等の増加や、人口増加、特に単身世帯の増加など、多くの要因があるが、普段から顔の見える関係は、地域の安心安全につながるほか、災害時等にも非常に大きな役割を果たすことから、大変重要であると言える。区では、町会等の役割や活動内容を紹介し、理解を深めてもらうための加入案内のリーフレットを転入者やその他の未加入者に配布し、町会等の活性化、とりわけ加入促進に向けた取り組みの一つとして行っている。

一方、様々な視点で、人と人とのつながりを生む取り組みも行われてきた。一部であるが、簡単にご紹介する。

一つ目は、「ガバナンスリーダー養成講座」。このタウンミーティング企画運営委員の方や、本日ご参加いただいている方にも、ガバナンスリーダー養成講座の卒業生がいらっしゃるが、平成23年度から27年度まで、まさにこの協治（ガバナンス）によるまちづくりを推進するリーダーの養成を目的として開催された。この講座の中でつながった皆さんが自ら地域活動団体を立ち上げ、今も様々な活動をされている。

二つ目は「フロンティアすみだ塾」。地域産業の後継者・経営者の育成を目指すビジネススクールであるが、経営者として学びのみならず、年齢や業種を超えた仲間作りの場にもなっている。そのつながりから、新しいビジネスが生み出されたりもしている。

三つ目は、「地域福祉プラットフォーム」。こちらは、区民の交流と相談の場として、平成28年度から整備されてきた。各種イベントや講座を定期的で開催し、地域の方々が集える交流拠点になるとともに、皆さんからの相談を受け、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた支援を行う場にもなっている。現在、本所、八広、京島の3ヶ所に開設されている。

その他にも、文花地域に、昨年4月には、情報経営イノベーション専門職大学、今年4月には千葉大学サテライトキャンパスが開設され、大学や学生とのつながりが生まれた。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においては、ボリビアのホストタウンになるなど、海を越えた新たなつながりもつくられている。区では、様々なつな

がりの場や仕組みをこれからも整備していく。

### <区長挨拶>

**区長** 皆様こんにちは。本日は、すみだタウンミーティングにご参加をいただき、厚く御礼を申し上げたい。またこの企画は、毎回、企画運営委員会の皆さんに、しっかりと作り上げていただき、大変意義あるものにしていただいて、委員の皆さんにも、そしてご参加をいただいでご議論をいただく皆様にも、改めて感謝を申し上げたい。

今お話があったので、私からは簡潔に申し上げたいが、墨田区が協治(ガバナンス)という手法を用いて区政を運営し、そして区民と一緒に墨田区をつくっていかうと考え始めて、10年が経った。協治(ガバナンス)に必要な3つの力として、「知る力」「つながる力」「行動する力」があるが、前回のタウンミーティングの「知る力」のところで、大変素晴らしいご意見も頂戴した。今日は「つながる力」について、ご意見を承りたいと思うが、皆さんもご承知の通り、墨田区は人と人とのつながりを大切にして、助け合ったり支え合ったりするコミュニティを育んできた。「人情」という言葉、それから「おせっかい」というような言葉も、街中でよく聞かれたりするところである。

そして、この1年半以上、本当に皆様に新型コロナウイルス感染症において、いろいろとご迷惑をおかけしたり、ご理解とご協力をいただいたりしてきたが、そういう中でもその「つながる力」が、皆様のおかげによって、墨田区では随分と発揮をしていくことができたのではないかと思っている。

例えば、ワクチン接種。本当にご理解いただきながら、例えば、墨田区から情報発信をすると、みんなで伝えてあっていただき、つながる力が発揮されて、現在は60歳以上では92%、全体でも82%ぐらいの接種率なので、全世代で、伝え合っていただけということにもつながっている。

さらには、区内の商業施設や大学の校舎、それからホテルなどの色々なところから、接種会場をご提供いただき、そういう中で墨田区医師会さんとのつながりもあり、非常にスムーズに動きが取れている。病床の確保についても、各病院の皆さんから、色々なつながりの中で協力をいただいて、このような地域の力は改めて重要であるとも感じている。ぜひそういうすみらしいつながりによって、ここから先の墨田区を、皆さんと一緒につくりていきたい。その持続可能な未来、将来像に向けて、皆さんの素晴らしいご意見を頂戴したい。

### <みんな実はつながっている！「私の好きなすみだ」>

**司会** 「みんな実はつながっている！私の好きなすみだ」を皆さんからお聞きしたい。これは、企画運営委員会の中でも、「そうは言ってもみんな、すみだで暮らしたり、仕事をしているということ自体が、もう、どこかですみだとつながっているってことだよな」という話が出た。今日のようにイベントに参加することも、好きなお店があることも、それがもう、すみだとつながっているということ。色々なつながりがあると思う。すみだで好きだなあと感じているところや、すみだに来たらこんなところがよかったというようなこと

を教えてください。

**区民A** 長く住んでいる人ほどすみだの良さをよくわかっていると思うが、悪く言えばおせっかい。とても親切でやさしいところが大好き。

**区民B** 医療・介護の会社を経営している。普段は電動自転車で墨田区を回っている。私は墨田区に引っ越してきて4年になるが、本当に人柄のいい方が多いということと、それから、東京駅から近いし非常に便利であること。それからワクチンの件。前は7月だったが、ワクチン接種をしてやはり、全国トップクラスである。やはり命、安全のまちすみだということで、皆さん方にどこに住んでいるか聞かれた時、墨田区と言うと、「墨田区っていいですね」とよく言われる。充実した毎日を送っていきたいと思っている。

**区民C** 一番すみだのいいところは、本当にずっと今までよかったが、スカイツリーができた事。ものすごくインパクトある。世界のスカイツリーだから、やはりすみだは一番住みやすい。

**区民D** 今、そこで子どもを預けて参加しているが、墨田区は無料の児童館や子育てひろばが充実しているので、ママ友もつくりやすい環境であるし、子どもを育てるには十分な環境だと思う。

**区民E** 墨田区に暮らして合計で16年ぐらい。その間に他のところに住んでいたこともあるが、必ず墨田区に戻ってこようと思っていた。その理由が、出身地に近いということもあるが、それ以外にも区長もおっしゃっていたが、いい意味でおせっかい。これだけ都会のど真ん中であるにもかかわらず、これだけべたっとしたというか、今の大家さんが時々電話してきて、来て頂戴と言われたりすることがあるが、そういったところがあったりとか、それでいてかなり新しいものたくさんあるということ。あとは、やはり夜遅くまでやっている銭湯があったりすることは、私はすごく本当に素晴らしいと思う。それが、すごく楽しい。他にも、外国の方もいっぱいいるので、外国の食べ物も簡単に手に入ることはすごい。外に住んでいたりと、海外で長く暮らしていた人達だけじゃなくて、そういう人たちにとっても暮らしやすいんじゃないかなと、いつも私は感じている。

また今回、やはりワクチンのこと。その話が出てきた時に、60人ぐらいの職場に、たまたま5人ぐらい墨田区の人が出て、「私達墨田区で本当によかったね」と。30代40代の人が多いので、墨田区じゃなかったらいつワクチンを打てたかわからない。他の人からも、墨田区に暮らしたいという話を聞いている。

**区長** 今いただいたご意見、それぞれのお立場でいただいたが、やはりスカイツリーという、この象徴というのは、確かに誘致して約10年、その辺を中心に町が変わってきたと思う。世界一のパワーという中では、その住民として、皆さんがお感じになっているという

ことを今、そうだなあと改めて思った。

それから人の良さというのは、これは江戸時代よりももっと前から、多分そういう町だったのではないか。代々、受け継いできたみたいなどころがあり、やはり人の良さ、それから支え合い、人情というものを、これからも、どんな社会になっても、墨田区というところの中では、そういうものが大事になっていくのだろうと改めて感じた。

銭湯のお話もあったが、やはりこれも文化であったり、それから子育てをしやすい町というのは、やはり我々が目指しているもの。これをさらに、声を聞いて良くしていくことは、すみだが好きだと言っていたいただいたことを、安心せずに、さらに進化させていくということが大事だなと、今改めてそんな感想を持った。

### <みんなでつながろう！1分間PRタイム>

**司会** 皆さんから、ご自分の活動や、伝えたいことなど、いろいろあると思う。せっかくなので、皆さん自身の発信でつながっていただければということもあり、この1分間PRタイムを設けた。皆さんの中で、ぜひ、自身がやってる活動や言いたいことがあるという方にPRをお願いしたい。

**区民F** すみだに住んで10年ちょっとになる。オリンピックとパラリンピックのボランティアのレガシーの一環で、今グループで活動している。その中でごみ拾い活動をしており、今は遠くだと広島だったり、千葉県の幕張の浜まで行って、仲間同士でゴミ拾いをしている。地元でも、飼っている犬の散歩道がちょうど大横川親水公園なので、そこを中心に犬の散歩をしながら、ごみ拾い活動をしている。皆さんも、自分の家の周りとか、近所だとか、近所にある公園とか、ぜひそういったところのごみ拾い活動をしていただければと思う。

**区民G** 一般社団法人SSKで、普段は子どもをキャンプに連れて行ったり、子どもの体験活動の支援を行っている。私たちの団体は、墨田区と墨田区の子ども会の連合会である墨田区少年団体連合会が実施しているジュニアリーダー研修会のOB、OGが集まってつくった組織である。なかなかコロナの状況で、キャンプなどの宿泊事業が行えないという状況もあって、今、車に楽しいものをたくさん積んで地域を回って、いろんなところを遊び場にしていこうという事業を始めている。墨田区地域活動推進課の、ふるさと納税を使ったクラウドファンディング事業で資金を集めながら、車に面白いものたくさん載せて、学校の校庭だとか、公園、あとは団地の広場なんかを使って遊び場を展開していきたいと思っている。皆さんの参加できる学習会なども企画しているので、ご興味ある方はぜひ参加いただきたい。

**区民H** 昨年末から、今少々女子会になっているが、「すみだたまり場」という活動をやっている。私自身は、引き込みりがちの主婦という立場でやっている。最近、ひきこもりという言葉や、新聞やマスコミで聞くことも多いと思うが、墨田区に、「みんなのカフェ」と

いう引きこもりの相談窓口を作っていただいて、感謝している。私もそこにも参加しているが、ただ、引きこもりと言っても、100人いれば100通りの段階というかいろんな悩みがある。ただ、みんなが共通して抱えているのは、今の社会が生きづらいなと思っていることで、本当に外に出られない人もいれば、外には出られるが友達がいないとか、私の場合主婦であると、夫以外話す人がいない。そういういろんな悩みを抱えている。そういう人たちのためにいろんな取組みがされている。

ぜひ私たちに、時間でも、共催の名前を貸してくれるのでも、なんでも共鳴してくれる方は、力を貸してほしい。今、この会には区外から来ているという方も多いので、ぜひすみだでこの、ひきこもり、すみだの女子会を広げていきたいと思うので、協力をお願いしたい。

**区民I** 11月に3件、イベントがある。墨田区内の人たちに、参加無料でやっているのので、ぜひ参加いただきたい。一つ目は、歴史を担当しているすみだ史談会という会を11月28日に行く。ユートリヤ祭というのは、11月11日から14日まで。それから2回目が11月24日から28日まで。11月14日と11月28日は舞台部門もある。参加者だけで400から500人ぐらい出場者がいるので、かなりいっぱいになると思うが、コロナ禍の中なので、入場制限があるかもしれないが、よろしくお願ひしたい。あと、ムサシサミットというのが、634に絡めて10年なので、全国からムサシ自慢をしたい人が集まってくる。区役所の1階でやるので、ぜひ参加をしていただければと思う。

**区民J** 私はいろんなところに顔を出しているのので、顔見知りの方も多と思う。今まで7ヶ所にボランティアに行っていたが、高齢者は感染するのが怖いというので、全部断られてしまった。しかし、暇だと言ったらユートリヤ祭があるから手伝ってくれと声をかけられ、今は、ユートリヤ祭のお仕事を一生懸命やらせていただいて、生きがいを感じている。

そして、コロナが落ち着いたら、今までボランティアで忙しかったが、町会会館を借りて、ふれあい茶屋みたいなのを、引きこもりの方、特に男の方が出てこられないので、麻雀とか囲碁とか、いろんなことができ、お茶を飲みながらおしゃべりしながら、集まれる場所を作りたいと思っている。

**区民K** 自転車の紙芝居屋をしている。最近は隣の江東区や台東区とかで、いろんなこともやらせていただいている。元々が、生まれも育ちもすみだなので、子どもたちに限らず、昭和の少年少女の皆様と、昔ながらの紙芝居だけではなくて、一緒に紙芝居を作る活動を通じて、心と心が伝え合って響き合って、この分断の世界をまた取り戻す活動をしていきたいと思っている。

**区長** PRというより、それぞれの活動が本当に素晴らしいなというもので、例えばごみ拾いだったり、子どもたちのキャンプや、体験学習だったり。それからたまり場、相談の窓

口、この引きこもりについて、みんなで考えて、そして声をお聞きいただけるというようなこと。それからやはり墨田区っていろんなイベントがあって、そこでお会いしてフェイストゥフェイスで、いろんなつながりが生まれていくという町でもあるし、その人の良さをそこで感じるということなので、様々なイベントを企画実現していただいて、その中でつながりを培っていただけると、本当にありがたいなと思う。紙芝居も本当に楽しいし、昭和の時代、小さい頃僕も見ていたが、今に生きる子どもたちが、紙芝居によってまた新たなイメージというか、感覚を持ってもらうということもとっても大事なんだと思う。

それから今コロナ禍なので、確かにこの感染防止だとかによって、どうしても分断された社会になっていくわけであるが、何とかこれを修復して、そして今みたいな面白い活動が、または人との出会いが再現されて、再開されて、そしてボランティア活動、前向きに行ってもらえるように、そんなこともこれからやっていかなければならないなというふうに今感じた。それぞれの団体の皆さんに本当に感謝を申し上げる。

(メインディスカッションに続く)